



▲歓声がわいた子豚レース。

今日は一日楽しかったね

第4回さつまフェスタ

11月16日、薩摩総合運動公園で、第4回さつまフェスタが開催されました。当日は、天候が心配されたものの約12,000人の参加者でにぎわいました。フェスタは、ステージショーや農林産物の展示即売、五ツ太鼓まつりなど盛りだくさんの内容で、多くの来場者は楽しい一日を過ごしました。昼食時に振る舞われたちくりん大鍋は、長蛇の列ができ、大盛況でした。



▲こっちこっち。上棟式での餅投げ。



▲うまく入るかな。コイン落とし。

▶むし歯は痛いよ。県歯科医師会百周年記念イベント。

▼たくさんのお子様も遊びに来ました。



多くの出演者が舞台発表で会場を盛り上げました。▲



●人権に関する標語・人権啓発ポスター作品審査結果
12月の人権週間にちなんで、町内の児童生徒から人権に関する標語・人権啓発ポスターを募集したところ、素晴らしい作品がたくさん寄せられました。審査の結果、特選に選ばれた作品を紹介します。

(敬称略)

■人権に関する標語

- 特選(4名)
『ひとりなら いっしょにあそぼう ぼくたちと』
盈進小一年 たぶちよしき
『つないだ手 ぼくの心はほつかほか』
柏原小四年 角 主輝

『どうしたの』 その言葉だけで うれしいよ』
永野小五年 山口紗祐梨

『さしのべよう 誰かがまってる あなたの手』
宮之城小二年 本田 雪乃

■人権啓発ポスター

- 特選(8名)
中津川小一年 段 颯人
柏原小二年 上之園智樹
柏原小三年 椎原 有希
佐志小四年 東 真帆
求名小五年 小森 紀綱
永野小六年 坂元 美月
鶴田小一年 井手田愛美
宮之城小二年 石之野美味

第2回「関東さつま会」総会開催



10月20日、好天に恵まれた穏やかな秋の陽射しの中、明治神宮外苑にある日本青年会館において各界から約150名が参加し、「第2回関東さつま会」を開催しました。

総会では、来賓代表として井上章三町長より大害事後の復興状況やさつま町の現状、これからの方針等についてのご報告と説明がありました。また、規約の制定、会計報告、役員改選が行われ全員の議案が全員一致で承認されました。総会後の懇親会では宮之

城出身の舞踏家、萩原政江さんによる踊りや抽選会、鶴田出身の祁答院隆さんの好意による懐かしい「故郷物産店」も開かれました。また、全員参加で「郷土の輪踊り」も行われ、久しぶりに出会われた方も多くの時の立つのも忘れて楽しいひとときを過ごしました。郷里を遠く離れた新しい「さつま町」が自分達のかげがえのない故郷であるという意識がさらに芽生え、素晴らしい「関東さつま会」が開催できたこと、幹事一同決意を新たに「これからの故郷との懸け橋となれるようにがんばりましょう」と喜んでおります。

(文面)

関東さつま会前会長 小島 満郎

新役員
会長 木通 洋吉(永野)
副会長

白石 満(宮之城)
日笠山 広文(求名)
上大迫 清澄(鶴田)
久木田 利広(永野)
永江 富夫(中津川)

第1回「近畿さつま会」開催

晩秋の色香漂う、大阪は道頓堀ホテルで「第1回近畿さつま会」(宮之城会、鶴田会、薩摩町会の連合体)を開催しました。平成17年に新生「さつま町」が誕生した時から、故郷を同じくする人達の「集いの場」を立ち上げたいと色々模索を重ねて参りました。が、夢が叶い11月3日(文化の日)に、さつま町出身者153名、来賓として、井上町長、濱田議長、中村企画広報課長、上野秘書人事係長、鹿児島県大阪事務所の本原所長をお迎えして盛大に開



催できました。焼酎、ご馳走に舌鼓を打ち、宴が最高潮になると、「おはら節」「焼酎天国」等の踊り、カラオケで美声を披露する人で賑わった。そして、会が取り持つ縁で会場内では即席同窓会、兄弟の再会ありで、懐かしい人との「語らいの花」が咲いていた。ミニ物産展の「つけあげ」「つぼ付け」なども瞬間に売り切れる盛況さであった。近畿さつま会のモットー「仲良く、気楽に、気分良く」を合言葉に、故郷「さつま町」を忘れず、盛り上げていきたいを「旗印」に、次回に向け更に会員の輪を大きく広げて、親睦を図っていきたくと思っております。近畿在住の親戚、友人、知人の方でも結構ですからご紹介ください。

連絡先

〒543-0001
大阪市天王寺区上本町1-19(株)チカラ自創内
TEL 06-6762-6058
FAX 06-6764-1102
近畿さつま会事務局宛
(文面)
近畿さつま会々長 市野 英司

歴史と伝統を継ぐ

盈進小創立150周年式典



世を越えて校歌を合唱する卒業生や教師OBと児童

盈進小学校創立150周年記念式典が11月2日、盈進小学校体育館で開催されました。

式典には、1858年に盈進館を開いた宮之城島津家15代島津久治公のひ孫にあたる島津忠之氏も祝いに駆けつけられました。

島津忠之氏の記念講話のほか、卒業生や教師OBと児童が一緒に旧校歌と現校歌を合唱するなど、子どもたちの心と記憶に残るすばらしい式典となりました。

また、盈進の歴史と伝統を振り返るパネル展示も開催され、訪れた多くの方が、昔の貴重な写真や資料卒業アルバムを懐かしそうな表情で見入っていました。